

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# Think MIRAI

小田原から未来を考える



はじめに

# Think MIRAI

小田原から未来を考える

小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



## 【キービジュアルに込められた思い】

SDGs未来都市小田原の取組の認知を通じて、世界(未来)について考える(アクションする)ために作成したキービジュアルです。未来への思いが幾重にも重なっている状況をイメージしています。

小田原市では、日頃からSDGsの活動に熱心に取り組んでいただいている企業や、団体などを「おだわらSDGs/パートナー」として認定し、様々な主体と連携した各種取組を進めています。これからも、本市の将来都市像「世界が憧れるまち“小田原”」の実現に向けて、私たちの子や孫の世代に誇れるようなまちづくりを進めていきます。

小田原市長

守屋 輝彦

2021年度の小田原のSDGsのテーマは「つながる」。公民の領域を越えたつながりを持つことで、今まで以上に取組めることが増えてきたと実感しております。SDGsの取組を通じて、若い皆さんが輝ける将来に「つなぐ」ために、これからも公民が連携して持続可能なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

おだわらSDGs実行委員会  
会長

原 正樹

# 目次

## はじめに

守屋輝彦小田原市長 原正樹おだわらSDGs実行委員会会長あいさつ .....2

## SDGsって何？

- ① SDGsアイコンの見方と説明 ..... 4・5  
② 小田原市内での取組（一例）】 .....

## 持続可能な地域社会の実現に向けた小田原市の取組.....6

### おだわらSDGsパートナーなどと連携した取組

- マイボトル作り(桜井小学校・ウォータースタンド株式会社・株式会社デコリア) .....7
- 出前講座(相洋高校・おだわらSDGsパートナー) .....8・9
- 課題解決ワークショップ(おだわらSDGsパートナー・小田原市) .....10・11
- おだわらSDGs普及啓発グッズ紹介(おだわらSDGs実行委員会) .....12
- Z世代のスタートアップを支援(一般財団法人83財団) .....13
- 小田原留学  
(湘南電力株式会社・一般社団法人全国ご当地エネルギー協会・  
武蔵野大学・特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所) .....14
- SDGs推進自動販売機  
(株式会社アークル・コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社・  
アソー熱工業株式会社・小田原衛生グループ) .....15

### SDGs推進の取組

- 余剰食品を有効活用!「フードドライブ」 .....16
- 企業の女性活躍推進を応援  
「小田原市女性活躍推進優良企業認定制度(小田原Lエール)」 .....17

### おだちん

- 「おだちん」スマホアプリでSDGsを体感! .....18
- おだちん「こんなことしています」・スポット、ユーザーさんの声 .....19

### おだわらイノベーションラボの紹介 ..... 20

### おだわらSDGsパートナー企業等一覧(2021年7月時点) .....21・22・23



エス ディー ジー ス

# SDGsって何？



国連に加盟する193のすべての国が賛同して採択された、世界共通の開発目標です。「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現のため17の目標を定め、2030年までの達成を目指しています。

SDGs:Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標の略)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

アイコンの  
見方と説明

SDGs  
アイコン

▶アイコンの意味

私達にできること

1 貧困を  
なくそう



あらゆる場所のあらゆる形の貧困を終わらせる

世界や国内の貧困や格差の問題を知る

2 飢餓を  
ゼロに



飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を実現し、持続可能な農業を推進する

食べられる量の食材を使い残さず食べる

3 すべての人に  
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

バランスの取れた食事、適度な運動を心がける

4 質の高い教育を  
みんなに



すべての人々への包摂的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

読書の習慣を身につける

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児の能力強化を行う

性別による決めつけをやめる

### 1つ1つの行動で より良い未来に



小田原市内での取組(一例)



14 海の豊かさを  
守ろう



小田原市在住の絵本作家でビーチクリーン活動も行う最勝寺朋子さんの絵本『しらすどん』が岩崎書店から

出版されました。地元漁師などに取材し、小田原市でもなじみのある「シラス」に着目して描かれています。「シラスがどんな風にも海で暮らしていたのか、食べ残されたらどうなるのか」など、豊かな海を守る大切さや食品ロスについて親子で考えるきっかけになる1冊です。



『しらすどん』を紹介する  
最勝寺さん

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



すべての人々の水と衛生の利用  
可能性と持続可能な管理を確保  
する

蛇口をこまめに閉めるなど水を  
大切に使う

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



すべての人々の、安価かつ信頼で  
きる持続可能な近代的エネル  
ギーへのアクセスを確保する

省エネな生活を心がける

8 働きがいも  
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長と、  
すべての人々の完全かつ生産的な  
雇用と働きがいのある人間らしい雇  
用(ディーセント・ワーク)を推進する

ワーク・ライフ・バランスの実現

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



強靱(レジリエント)なインフラ構  
築、包摂的で持続可能な産業化の  
促進とイノベーションの推進を図る

公共交通機関を利用する

10 人や国の不平等  
をなくそう



各国内や各国間の不平等を是正  
する

地域にいる外国人と、ともに安心  
して暮らせる方法を考える

11 住み続けられる  
まちづくりを



包摂的で安全かつ強靱(レジリエ  
ント)で持続可能な都市および人  
間居住を実現する

ハザードマップ、避難所を確認する

12 つくる責任  
つかう責任



持続可能な生産消費形態を確保  
する

使い捨てより長く使えるものを  
選ぶ

13 気候変動に  
具体的な対策を



気候変動とその影響を軽減する  
ための緊急対策を講じる

買物にはエコバッグを利用する

14 海の豊かさを  
守ろう



持続可能な開発のために海洋・海  
洋資源を保全し、持続可能な形で  
利用する

海岸・河川の清掃活動に参加する

15 陸の豊かさも  
守ろう



陸上生態系の保護、回復、持続可能な利  
用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠  
化への対処、ならびに土地劣化の阻止・回  
復および生物多様性の損失を阻止する

緑を大切にす

16 平和と公正を  
すべての人に



持続可能な開発のための平和で包摂的な社  
会を推進し、すべての人に司法へのアクセ  
スを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的  
で説明責任のある包摂的な制度を構築する

世界の紛争を理解し平和について学ぶ

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



持続可能な開発のための実施手  
段を強化し、グローバル・パート  
ナーシップを活性化す

小田原SDGs体感事業  
「おだちゃん」に参加しよう!

15 陸の豊かさも  
守ろう



植樹式の様子▶



おだわらSDGsパートナーの株式会社伊藤園が桜であら  
れる街づくりを目指す「わたしの街の未来の桜プロジェク  
ト」の一環でソメイヨシノ1本を小田原市に寄贈しました。  
この木は、小田原城址公園南側に植えられました。

14 海の豊かさを  
守ろう



小田原漁港周  
辺の活性化や商品  
開発等に取り組  
む「小田原地魚大  
作戦協議会」が、  
低利用魚を活用した「港の飯どろ  
ぼう 地魚なめろう」「港のからあ  
げクン」等を開発しました。あまり  
知られていない地魚の美味しさ  
を知ってもらうことで、様々な魚  
種を食べてもらいたいという想  
いが込められています。



その時々で獲れる地魚が  
活用されています

# 持続可能な地域社会の実現に向けた小田原市の取組

小田原市ではSDGsの推進に向けて、未来を担う皆さんを含む「人材の育成」を重視しています。身の回りの課題解決に取り組む現場での「学び」と「交流」をとおして、様々な課題の解決に向かうとともに地域経済の活性化を目指します。

## 【仕組み】

「人のチカラを育くむ」



おだわら市民学校  
Odawara Citizen School

### 経済



- 伝統的な地場産業の支援と育成
- 高技術・高品質のものづくりのPR促進
- 有機農業モデルタウンの取組
- 「木づかい」のまちづくり
- 農産物・水産物の地産地消とブランド化

### 環境



- 環境先進都市としてのブランド確立
- 地域の環境再生・保全活動の推進
- エネルギーの地域自給に向けた取組
- 森林の再生
- 里地里山の再生と整備
- 水辺環境の整備促進

### 社会



- ケアタウンの推進※1
- スクールコミュニティの形成※2
- 地域コミュニティの強化※3
- プロダクティブ・エイジングの推進※4



### SDGs普及啓発事業

SDGsを旗印に、経済・環境・社会の各分野でのこれまでの課題解決の取組を推進

### SDGsの体感

多くの方が課題解決を自分ごと化するきっかけづくり

### SDGsの普及啓発

これまでの取組を推進する観点でのSDGs普及啓発

※1 支え合う地域の仕組み

※2 地域で子どもを見守り育てる考え

※3 地域の方で課題を解決する組織

※4 シニアが持っている知見などを生かして地域課題を解決する仕組み

**おだわら市民学校とは…**「持続可能な地域社会」の実現のためには、いろいろな世代や立場の人たちが手を携えて課題を乗り越えていくことが求められます。おだわら市民学校は、郷土を愛する皆さんと一緒に学び、実践へつなげる「人のチカラ」を育む学びの場です。



おだわら市民学校では、活動の現場で活躍している方を講師として迎え、実践活動を学びます。そして、学んだ人がそれぞれの分野で活動の実践につなげるという循環を継続することで、持続可能な地域社会の実現を目指していきます。

詳しくはこちら



# マイボトルを作り、ごみを削減

桜井小学校で出張授業  
ウォータースタンド株式会社・株式会社デコリア



桜井小学校の6年生の総合の授業でおだわらSDGsパートナーの企業を招いた出張授業「ペットボトルを減らそう!マイボトルプロジェクト」が行われました。児童は「株式会社デコリア」提供の黒板紙でオリジナルタンブラーを作りました。完成したタンブラーを使い、「ウォータースタンド株式会社」のウォーターサーバーで試飲もしました。

今回の授業で使用した黒板紙は、製造時にごみになってしまうものを再利用したものです。またマイボトルを普及することで、ペットボトルごみの削減につながります。

小田原市では、小中学校でのワークショップなどを通し、SDGsを身近に感じる環境づくりに力を入れています。

# SDGs出前講座 in相洋高校

相洋高校・おだわらSDGsパートナー



おだわらSDGsパートナーの一員である相洋高校では、授業だけでなく委員会活動など、学校全体でSDGsへの取組を進めています。小田原市のSDGsのテーマの1つに「次世代との関係づくり」が設定されていることから、パートナー8者を講師とした出前講座が行われました。

講座のテーマは「地域企業の取り組みSDGsについて」。生徒は小田原市の取組のほか、各企業がどのような形でSDGsの取組を社会に還元しているかを学びました。

また「今日から始められるSDGsの取組」の紹介もありました。

## 生徒の感想

企業の方から直接話を聞くことで、これまで授業で学んできたことがリンクした。一人ひとりがSDGsについて興味を持って、できることから取り組むのが大切だと思った。



どの企業も身近なところからSDGsの取組を始めている印象を持った。私たちが目標達成に近付けるように、少しずつ始めていきたい。



## パートナーによる講座の様子



いろいろな分野の  
取組の紹介がありました！



生徒たちは真剣な表情で  
聴き入っていました



## パートナーの感想



生徒とこのような形で接点を持つのは、とてもよい機会。このような場がこれから増えていけば良いと思います。



当日の様子は  
こちらから  
ご覧いただけます

## 参加したおだわらSDGsパートナー8者

- 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場
- 株式会社リンクライン
- みずほ証券株式会社 小田原支店
- 小田原衛生グループ
- 湘南電力株式会社
- 一般社団法人小田原路面電車協会
- Nama Gâteau Au Chocolat
- 株式会社REXEV

# アイデア続々! 「課題解決ワークショップ」

おだわらSDGsパートナー・小田原市



高校生も  
アイデア発表!



おだわらSDGsパートナーのメンバーらが、SDGsなどをテーマに自由にディスカッションして新しいアイデアの創出や課題解決に導く「課題解決ワークショップ」を行っています。ワークショップには様々な職種の人が集まってグループに分かれ、テーマごとに自由な発想でアイデアを

出し合い発表します。高校生が参加した際には、若者の視点でSDGsを身近に感じるアイデアがたくさん出ました。今後も定期的に行っていきます。

## これまでに実施したテーマ

- 「持続可能なまちをつくるために建設会社ができること」
- 「公民連携を推進する方法」
- 「Think MIRAIグッズ・アイデアについて」
- 「SDGs思考の梱包資材(環境対応)について」
- 「小田原市に移住・定住・永住を促進するには」
- 「小田原エリアでまちのコイン(おだちゃん)が日常の当たり前になるために?」



## 「第3回課題解決ワークショップ」の様子



たくさんのユニークなアイデアを  
プレゼンターに手渡しました

過去のワークショップのアイデア  
からSDGs普及啓発グッズが  
できました!



### 参加者の感想

前回とても楽しかったので、今回は  
同僚を誘って参加しました。幅広い  
世代の人のアイデアは刺激になりま  
した。仕事でも生かせそうです。



当日の様子は  
こちらから  
ご覧いただけます

今回プレゼンターとして参加  
し、皆さまからたくさんのアイデア  
をいただきました。固定観念に  
とられない自由な発想ばかり  
でとても勉強になりました。



おだわらSDGsグッズが完成しました!

おだわら  
SDGs  
実行委員会



「おしゃれで良いね!」  
と高校生の評判も  
上々です



廃材を使った  
スマホケースなど  
200個以上の  
アイデアから誕生!



おだわらSDGs実行委員会では「Think MIRAI 小田原から未来を考える」をテーマにSDGsの普及啓発活動を行っています。SDGsをもっと身近に感じてもらえるように「オリジナルエコ タンブラー」を製作しました。「課題解決ワークショップ」で寄せられたアイデアをもとに誕生したもので、竹のチップを使用したエコ素材です。日常的に使うことで、プラスチックなど海洋ごみの削減につながります。



普段使いしやすいスタイリッシュなデザインにしました。SDGsについて身近に感じてもらえるよう、多くの人に使っていただけると嬉しいです!

おだわらSDGs実行委員会  
ブランディング・フォース  
加藤 恵一さん

製作秘話など  
こちらからご覧いただけます



おだわらイノベーションラボで  
販売中!

売上金はSDGsの  
普及啓発活動に使われます  
オリジナルエコ タンブラー  
(340ml) 500円

販売時間

平日10:00~17:00  
小田原市栄町1-1-15  
ミナカ小田原  
(小田原新城下町2F)



# Z世代のスタートアップを支援

一般財団法人 ハチサン 83財団



一般財団法人83財団は、おだわらSDGsパートナーのHamee株式会社が支持母体となり、県西エリアにおける地域の活性化を支援することを目的に設立されました。主な事業は、Z世代(13歳から25歳をメインターゲット)の起業を支援するスタートアップ支援事業です。県西エリアにおける地域資源や文化を生かして起業

を目指す次世代に対し、奨学金制度のほか、新しい価値観やテクノロジーに触れる環境、同じ志を持つ仲間との交流、また第一線で活躍する経営者との接点を提供しています。Z世代へのスタートアップ支援としては、国内初の取組です。現在、1期生として音楽家や料理人、農家を目指す若者など8人が支援を受けています。

Z世代の若者は自分の意見を持ち、社会問題への意識も高い印象があります。現役の経営者と接する機会があれば、革新的なことを起こせるのではないかと思います。素晴らしい歴史や文化、伝統が根付き、恵みあふれる自然を脈々と継承する老舗企業から学び、また次世代を担う若者のクリエイティブな魂と向き合うことでお互いが進化成長する「きっかけ」に着火させていく。若者のスタートアップを街全体で支援する、そんな地域カルチャー創りに寄与していきたいと考えています。

代表理事 齊藤修一さん



**83**  
FOUNDATION



# 「小田原留学」で人材育成

湘南電力株式会社・(一社)全国ご当地エネルギー協会  
武蔵野大学・(特非)環境エネルギー政策研究所(isep)



地域活性に携わる若手人材育成を目指す小田原市は、学生が地域活性を学ぶ現場を求める教育機関と地元企業とが連携した滞在学習プログラム「小田原留学」を行いました。湘南電力株式会社と一般社団法人全国ご当地エネルギー協会、武蔵野大学、特定非営利活動法人環境工

ネルギー政策研究所(isep)が実施主体となり開催され、「EVを活用した観光コース創出」や「起業したい学生を受け入れる施策」などの活性化策が出されました。今後も行政と企業の連携した仕組みづくりを進め、次世代に向けた取組していきます。

## 参加した大学生

実際に住んでいても知らない魅力は多く、やはりターゲット層への発信が必要だと感じました。今後も活動に参加し、いつかは小田原で仕事をしてみたいです！



# 自動販売機の利用でSDGsに貢献

株式会社アークル・コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社  
アソー熱工業株式会社・小田原衛生グループ

## アソー熱工業株式会社

代表取締役 関野功さん

SDGsの達成に向けて協力したいと思って設置しました。



## 小田原衛生グループ

執行役員 門川秀臣さん  
統合経営情報室 鈴木優希乃さん

従業員がSDGsを意識するきっかけになると思います。



SDGsについて身近に考える取組の1つとして、「おだわらSDGs推進自動販売機」があります。株式会社アークルとコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社がおだわらSDGsパートナーに声をかけて実現しました。現在、アソー熱工業株式会社と小田原衛生グループの敷地内に設置しています。売上金の一部はおだわらSDGsの推進につながる事業に寄付されます。

## コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

神奈川西支店 二藤亮介支店長



未来の子どもたちが安心して暮らせる環境をつくるのが私たちの役目です。今後も小田原市と協力しながら、取り組んでいきたいと思っています。

## 株式会社 アークル

企画開発室 藤田充マネージャー

当社が扱っている自販機を、SDGsの目標達成のツールとして活用したいですね。小田原市と連携しながらSDGsの推進に取り組んでいきたいです。



# 余剰食品を有効活用！フードドライブ

NPO法人報徳食品支援センター・おだわらSDGsパートナー

「フードドライブ」は家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体などに寄付する取組で、SDGs達成につながるアクションの1つです。県西地域では2019年にフードバンク「NPO法人報徳食品支援センター」（おだわらSDGs

パートナー）が発足し、地域のひとり親世帯や基礎年金だけで暮らす高齢者、「子ども食堂」などに商品が届けられています。

「もったいない」を「ありがとう」へ変える活動、あなたも参加しませんか？

## 受付できる食品



- 穀物（お米、麺類、小麦粉等）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）、飲料
- インスタント食品、レトルト食品
- ギフトパック（お中元、お歳暮）
- 調味料
- 地元産の果物
- 賞味期限が1か月以上残っている常温保存可能なもの

## 受付できない食品



- アルコール類（お酒、みりんなど）
- 野菜、肉、生野菜などの生鮮食品
- 冷凍、冷蔵食品
- 外国のお土産、輸入食品
- 賞味期限の記載のないもの
- 賞味期限が1か月未満のもの
- 包装、容器を開けてしまったもの
- 災害備蓄品

フードバンク活動には、食品を配る福祉活動と食品ロス削減という2つの原則があります。日本のフードバンクは食品ロス削減の力が弱いので、私たちは、バランスの取れた活動を実践しています。



NPO法人報徳食品支援センター 本岡俊郎 副理事長

## 食品の寄付はこちらから

### 一般の方

受付 NPO法人報徳食品支援センター

☎070-1432-9559

<https://oh-fb.gicz.tokyo/>

詳細はこちらから  
ご覧いただけます



## おだわらSDGsパートナーの方

受付 小田原市未来創造・若者課

✉mi-kyoso@city.odawara.kanagawa.jp

タイトルに「フードドライブ参加希望」・事業所名を記入して、下記内容をお送りください

- ①事業所名
- ②担当者名
- ③連絡先（電話番号またはメールアドレス等）

問合せ ☎0465-33-1404

# 企業の女性活躍推進を応援

小田原市女性活躍推進優良企業認定制度(小田原Lエール)



小田原市は性別に関わらず活躍したいと思う誰もがチャレンジできるまちを目指しています。小田原Lエールもその1つです。女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる市内の企業などを、優良企業として認定する制度で、2021年度は20社が認定されました。



## 認定された企業の声

女性活躍に取り組むきっかけは働き手の確保だったが、社内に女性活躍のプロジェクトチームを発足して社員の声を聴きながら働きやすい職場を目指して工夫するようになりました。



申請するためのチェック表を見て、新たな気づきがありました。

女性をはじめ、誰もが働きやすい職場を目指し、固定観念を持たないようにしようという雰囲気が出てきました。



## はたらく女子会@ラボ～おしゃべり交流会～

様々な企業で働く女性が集まり、働き方や夢などを語り合う交流イベントがおだわらイノベーションラボで行われました。参加者からは「頑張っている方たちと話して背中を押してもらえた」などの声があがりました。



# 小田原市のSDGs

Think  
MIRAI  
ODAWARA 2030



—小田原市SDGs体感事業 **おだちん**—

小田原市は持続可能な開発目標(SDG)を推進しています。



小田原のコミュニティポイント(おだちん)って?  
どんなコトができるの?

地域の困り事やSDGsに関連した取組に協力すると「おだちん」がもらえます。もらった「おだちん」は、各スポットで工夫を凝らしたサービスを受け取る際に使えます。



「地域を良くしたい」  
という人・想いが  
つながる!



SDGsの取組に  
関わるきっかけに  
なるよ

ポイントの単位は  
「おだちん」



スマホアプリでSDGsを体感しよう!

## SDGsを体感 **おだちん**

supported by **まちのコイン**

おだちんって??

スマートフォンなどで「まちのコイン」というアプリを使って、SDGsにつながる取組に参加すると「おだちん(小田原のポイント単位)」を「もらったり」「つかったり」できます。「人と人」「地域と人」「地域を良くしたい想い」がつながることを目指しています。

おだちんを体験!

1

アプリ  
「まちのコイン」を  
ダウンロード!



Androidの人



iPhoneの人

2

SDGsに関する  
イベントへ  
参加or行動

3

「おだちん」ゲット!!

4

「おだちん」を使う

こんなことに使えます

家の包丁研ぎます。  
賞味期限の迫ったパンあげます。  
オリジナルカクテルつくります。

※神奈川県「つながりポイント事業」と連携しています

こんなことしています



イベント参加で  
「おだちん」がもらえるよ!



## おだちん まち歩きツアー



小田原の魅力がたくさん見つけて「もっと小田原が好きになる」ツアーが開催されました。まちの隠れたスポットや、「おだちん」のスポットなどをまわってSDGsを体感しました。



## まちのもったいない マーケット

「自分はいらなくても他の人にとっては必要なものかも!」。野菜やパン、雑貨などの“掘り出し物”が集まりました。おだちんを使ってまわせる巨大ガチャの景品になり、盛り上がりました。



始めた  
きっかけは?

## おだちん やってみた

おすすめ  
ポイントは?

スポットのお店やユーザーさんに聞きました

地元の人に  
店を知ってもらおうキッカケに!  
SDGsの活動にも繋げられる。

レシピを間違えた商品など廃棄になりそうな商品をおだちんを使って地域の皆さんにご提供しています。SDGsのフードロス防止活動に繋がって、地元の人たちとの繋がりも生まれています。



「おだちん」スポット  
スイーツ店経営者  
男性 (30代)

親子で楽しみながら  
SDGsを身近に感じられる!  
地域のお店を知るきっかけにも。

エコバッグの持参や清掃活動、スポットに立ち寄ったときなど、ちょっとしたことで「おだちん」がもらえるのでゲーム感覚で親子で楽しみながら使っています。新しいお店に行くきっかけにもなって良いですね。

ユーザー  
女性 (30代)  
子 (7歳・3歳)



# 公民連携・交流拠点 「おだわらイノベーションラボ」

小田原市・おだわらSDGsパートナー



小田原駅東口の複合商業施設「ミナカ小田原」に2021年7月、新たなまちづくりに向けた公民連携・交流拠点が誕生しました。会議室やワーキングスペースなどがあり、おだわらSDGsパートナーなどに登録している企業や団体が無料で使用することができます。



小田原城北工業高校の生徒が壁紙にアート

「2030年の小田原」をテーマに、小田原城北工業高校デザイン科の生徒たちが施設内の黒板壁紙にチョークアートを描くなど、交流の場にもなっています。



ODAWARA  
innovation  
lab  
おだわらイノベーションラボ

小田原市栄町1-1-15  
ミナカ小田原・小田原新城下町2F  
【開設時間】10:00~18:00  
【開設日】年末年始ほか  
☎080-4429-6253

事前WEB予約制

利用対象など詳細はこちらからご確認ください



# おだわらSDGsパートナー企業等一覧

みなさんとともに小田原のSDGsを推進していきます！ 2021年7月時点

## 広げよう SDGsの輪

Think  
MIRAI

小田原から未来を考える  
小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



TRIbank Sagami  
さがみ信用金庫

Sプライムエージェンシー  
合同会社

みずほ証券株式会社  
小田原支店

荏原実業  
株式会社



CONSENSUS



有限会社  
箱根丸山物産



伊豆箱根バス株式会社  
小田原営業所

小田原鉄道歴史研究会  
有限会社  
おむろ・アカデミー



一般社団法人  
エコ再生紙振興会  
小田原作業所



SMC株式会社  
厚木ブロック  
厚木営業所

ススポーツプラザ ホクトク



公益社団法人  
小田原市  
シルバー人材センター



小田原市土木建設  
協同組合

重 株式会社 奥津 建材

社会福祉法人永耕会  
デイセンター永耕  
パン工房ジョイ



小田原紙器工業  
株式会社



一般社団法人神奈川県西地区  
リハビリテーション協議会



木心 Smedical



株式会社  
工務ハナオカ



コカ・コーラ  
ポトラーズジャパン  
株式会社

株式会社  
JTB神奈川西支店



昌永産業  
株式会社



株式会社相州不動産

PNC パナック工業

南開工業  
株式会社

箱根登山バス  
株式会社



相鉄企業株式会社  
株式会社  
ハシモト

有限会社  
松下靴店

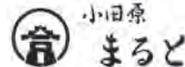


ベストピア行政書士・  
社会保険労務士事務所

松下運送  
有限会社



株式会社まるだ  
運輸倉庫



ヤブタ塗料  
株式会社



株式会社  
リンクライン



# おだわらSDGsパートナー企業等一覧

広げよう SDGsの輪

Think  
MIRAI



小田原から未来を考える  
小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

小田原鍼灸  
マッサージ師会

おだわらスマート  
シティプロジェクト



有限会社ぎんが邑  
RIV総合研究所



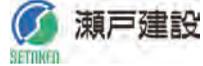
KOIKAI  
Additive Manufacturing

アヴィ株式会社

あきさわ園  
(Natural farm Akisawa)



西湘ビル  
メンテナンス  
協同組合

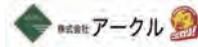


株式会社  
アシスト・ワン

株式会社  
アベストミヤケ



城下町  
スポーツクラブ



有限会社  
新玉製作所



西湘ガス産業  
株式会社

西湘日本  
中国友好協会

VIVRE



株式会社  
ダイソーテクニカル



宗教法人蓮華寺

オセアンワーク株式会社  
オセアンビクトリア  
小田原

株式会社  
T-FORESTRY

石政石材有限公司



オセアンワーク株式会社  
ハーティオセアン  
小田原



一般社団法人  
日本リカバリー協会



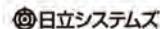
富士ボトリング  
株式会社

東京電力  
パワーグリッド株式会社  
小田原支社



マツダ小田原株式会社

野村證券



小田原市内郵便局  
(25局)



セブンイレブン  
小田原飯泉店

森のイオン販売所  
(運営: 株式会社  
ハウスパートナー)



三菱ケミカルハイテクニカ  
小田原テクノセンター



MeijiSeikaファルマ  
株式会社 小田原工場

marue

みなさんとともに小田原のSDGsを推進していきます！ 2021年7月時点

大谷社会保険  
労務士事務所

柏原総合環境会計  
事務所  
KSEA-office

株式会社 鮫屋  
AWABIYA

伊藤園

特定非営利活動法人  
WE21ジャパン  
おだわら

法  
早瀬法律事務所

株式会社エソ  
江之浦  
ダイビングサービス

FM  
ODAWARA  
87.9MHz

Otsuka 大塚製薬

いのちをつなぐ  
SARAYA

株式会社 小田原機器

IASO  
アソー社工業株式会社

株式会社おだわらコンサルティング

小田原市  
漁業協同組合

小田原市  
小田原臨海遊覧船

温暖化防止  
アクショングループ

もっと、あなたに響くこと。

J:COM

株式会社コバヤシ

加藤建設株式会社  
KATO

おだわら環境志民  
ネットワーク

学生服リユースshop  
さくらや 小田原店

Japan Asia Group  
国際航業

農ど自然を  
見つけて

JAかながわ西湘

JS FOOD SYSTEM INC  
KURE JSFOOD SYSTEM

神靜民報

独立行政法人  
国立印刷局  
小田原工場

医療法人  
小林病院

鈴木美帆  
税理士事務所

art de vivre

藍神環境ソリューション

独立行政法人  
国立印刷局  
小田原工場

相洋高等学校

小田原市  
小田原市立小田原南小学校

株式会社ういろう

Daiwa Lease  
大和リースグループ

相日防災株式会社

多古公民館  
運営委員会

損害保険ジャパン  
日本興亜株式会社  
神奈川支店 小田原支社

小田原  
ウイメンプラス

株式会社  
なかいまち薬局  
みなみぐち薬局

竹広林業株式会社

CMS  
チャレンジマイセルフ

Chalisa

株式会社  
五神建設  
GODAMMI KENSETSU

はなまる農園

信  
RIMON  
ENDURA TREATMENT

立ちどまらない保険。  
MS&AD 三井住友海上

株式会社  
せりざわたけし工務店

わが街のクラブに  
FURUKAWA

万葉の湯  
YAMANAKA

peer social

有京

株式会社トヨコン

マルク

ハラコン

SPJニュース

報徳仕法株式会社  
株式会社報徳会館

ほはく  
工業子  
株式会社

マルセン株式会社

わさん

nakatani  
sangyo

KUNI

社会福祉法人  
宝安寺社会事業部

Hamee

REXEV

おだわらSDGsパートナーについて  
詳しくはこちら！

おだわらSDGsパートナー 検索



今日を愛する。  
LION

Odawara City



Think  
MIRAI

小田原から未来を考える



小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



発行:おだわらSDGs実行委員会  
2022年3月  
TEL:0465-33-1738(小田原市未来創造・若者課)  
<https://sdgs-odawara.jp>